

■本学の資金運用について

本学の2009年3月末の資金運用状況を説明させていただきます。

本学の運用は満期保有を目的とした債券中心の有価証券に投資を行っており、元本の安全性を重視したのになっております。しかしながら、昨年9月に起きたリーマン破綻を引き金に世界中の金融・経済機能が、100年に一度と言われる想定し得ない状況に見舞われています。その結果、本学が保有している有価証券にも影響を及ぼす結果となりました。2008年度決算では、有価証券処分差額134百万円、有価証券評価差額1,621百万円を計上せざるを得ませんでした。有価証券処分差額134百万円のほとんどが有価証券を売却したことにより発生した損失です。また、有価証券評価差額1,621百万円は、保有有価証券の時価が大幅に下落したため、取得時の金額の評価替えを行ったことによります。後者はあくまでも資産計上額の評価替えであり、現実に損失が発生している訳ではありません。また、これ以外の有価証券は、学校法人会計基準では、評価替えまでは求められておりませんが、資産計上額と時価評価額との差額を貸借対照表の注記欄に記載しなければならないと定められており、その金額は前年度末では▲867百万円でしたが、今年度末では、▲1,049百万円となりました。繰り返しになりますが、これはあくまでも資産計上額と時価評価額を比較した場合の差額であり、現実に損失が発生している訳ではありません。なお、保有有価証券の評価替えおよび資産計上額から時価評価した場合に損失となっているものは、そのほとんどが債券であり、満期まで保有した場合、今期資産処分差額として計上した1,621百万円と貸借対照表に注記した1,049百万円の合計額2,670百万円は満額償還となる予定のものです。現時点では、発行体が破綻して元本が毀損される可能性は低いと考えています。

以 上

財務の概要

(1) 資金収支計算

資金収支計算について、予算と決算の対比による主な内容をご報告いたします。

資金収支総括表

(収入の部)

(単位：百万円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	37,098	36,677	421
手数料収入	2,895	2,997	△ 102
寄付金収入	381	518	△ 137
補助金収入	4,095	4,445	△ 349
資産運用収入	773	948	△ 175
資産売却収入	0	1,636	△ 1,636
事業収入	258	339	△ 81
雑収入	828	1,007	△ 179
借入金等収入	5,501	4,500	1,001
前受金収入	6,666	7,032	△ 367
その他の収入	1,744	2,370	△ 627
資金収入調整勘定	△ 7,471	△ 7,532	61
当年度資金収入合計	52,768	54,938	△ 2,170
前年度繰越支払資金	12,186	21,817	
収入の部合計	64,954	76,754	△ 11,801

大学の2008年度新入生が見込みを267名(通教除く)下回りました。

国庫および地方公共団体からの補助金の収入が見込みを上回りました。

有価証券を売却資金化し、2009年度に市場環境を捉え新たな運用へ投下します。

建設事業の執行状況を勘案し、借入金を減額しました。

2009年度大学の入学手続者が見込みを上回りました。

退職給与引当特定資産からの繰入収入が退職者の増により見込みを上回りました。

(支出の部)

科目	予算	決算	差異
人件費支出	24,746	23,243	1,503
教育研究経費支出	11,720	11,359	361
管理経費支出	1,737	1,737	0
借入金等利息支出	170	94	76
借入金等返済支出	4,538	4,538	0
施設関係支出	8,637	7,421	1,216
設備関係支出	3,177	2,408	769
資産運用支出	6,416	7,496	△ 1,080
その他の支出	1,005	810	195
[予備費]	(144) 856	—	856
資金支出調整勘定	△ 1,615	△ 1,789	174
当年度資金支出合計	61,386	57,317	4,069
次年度繰越支払資金	3,567	19,437	△ 15,870
支出の部合計	64,954	76,754	△ 11,801

学内年金資産への繰入が当初計画を下回りました。

小金井キャンパス再開発第2期工事(2期-1)に伴う施設撤去費の執行が減となったことなどにより、見込みを下回りました。

スポーツ健康学部棟や多摩長期修繕などの建設事業が見込みを下回りました。

小金井キャンパス再開発第2期工事(2期-1)に伴う備品購入事業が見込みを下回りました。

L・U募金受入に伴う各引当特定資産への繰入を行ったことなどにより、

()内は予備費使用額であり、必要となる各科目の予算額に追加されています。

(注1) 上記の表の金額は百万円未満を四捨五入しているため、合計など数値が計算上一致しない場合がある。なお、以下の表についても同様である。

(注2) 予算額は、予備費充当後の金額である。

当年度資金収支差額	△ 8,618	△ 2,379	△ 6,239
-----------	---------	---------	---------

資金収支計算の中の経常的収支計算

(単位:百万円)

		予 算	構成率(%)	決 算	構成率(%)	差 異
(A)	総額	37,098		36,677		421
	(△) 教育充実費	△ 7,781		△ 7,716		△ 65
	学 生 生 徒 等 納 付 金 収 入	29,317	76.4%	28,962	74.5%	356
	手 数 料 収 入	2,895	7.5%	2,997	7.7%	△ 102
	総額	381		518		△ 137
	(△) 特定資金のための寄付金	△ 113		△ 235		122
	寄 付 金 収 入	269	0.7%	283	0.7%	△ 15
	総額	4,095		4,445		△ 349
	(△) 研究設備補助金他	△ 85		△ 92		7
	補 助 金 収 入	4,010	10.5%	4,353	11.2%	△ 342
	資 産 運 用 収 入	773	2.0%	948	2.4%	△ 175
事 業 収 入	258	0.7%	339	0.9%	△ 81	
雑 収 入	828	2.2%	1,007	2.6%	△ 179	
計	38,350	100.0%	38,888	100.0%	△ 538	
(B)	総額	24,746		23,243		1,503
	(△) 退職金支出	△ 1,059		△ 1,340		281
	退 職 資 産 へ の 繰 入 支 出	1,714		1,714		0
	人 件 費 支 出	25,401	66.2%	23,617	60.7%	1,785
	総額	11,720		11,359		361
	(△) 建設事業に係わる経費	△ 963		△ 1,080		117
	教 育 研 究 経 費 支 出	10,757	28.0%	10,279	26.4%	478
	総額	1,737		1,737		0
(△) 建設事業に係わる経費	△ 7		△ 58		51	
管 理 経 費 支 出	1,730	4.5%	1,678	4.3%	51	
借 入 金 等 利 息 支 出	170	0.4%	94	0.2%	76	
計	38,058	99.2%	35,668	91.7%	2,390	
(C)	(A - B) 経常的収支差額	292	0.8%	3,220	8.3%	△ 2,928

(注1) 経常的支出の各構成率は、経常的収入合計に対する比率である。

(注2) 予算額は、予備費充当後の金額である。

「経常的収支計算」は、本学が独自に資金収支計算のうちから、施設設備に係わる収支などを除き、経常的収支に関する部分を抽出して作成したものです。

学生生徒等納付金収入は見込みを下回りましたが、補助金収入が見込みを上回ったこと、人件費支出および教育研究経費支出が見込みを下回ったことなどにより、経常的収支差額は予算を2,928百万円上回る収入超過となりました。また、経常的収支差額比率（経常的収支差額の経常的収入合計に対する比率）は8.3%と、予算を7.5ポイント上回りました。

(2) 消費収支計算

消費収支計算について、その主な内容をご報告いたします。

消費収支総括表

(消費収入の部)

(単位：百万円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	37,098	36,677	421
手数料	2,895	2,997	△ 102
寄付金	381	554	△ 172
補助金	4,095	4,445	△ 349
資産運用収入	773	950	△ 176
事業収入	258	339	△ 81
雑収入	828	1,007	△ 179
帰属収入合計	46,329	46,968	△ 639
基本金組入額合計	△ 8,690	△ 7,391	△ 1,299
消費収入の部合計	37,638	39,577	△ 1,939

(消費支出の部)

科目	予算	決算	差異
人件費	23,940	22,846	1,094
教育研究経費	15,802	15,415	387
(内減価償却額)	(4,082)	(4,049)	(32)
管理経費	1,891	2,010	△ 119
(内減価償却額)	(299)	(274)	(25)
借入金等利息	170	94	76
資産処分差額	445	2,312	△ 1,868
徴収不能額	0	1	△ 1
消費支出の部合計	42,248	42,678	△ 431
帰属収支差額	4,081	4,290	△ 209
帰属収支差額比率	8.8%	9.1%	—
当年度消費支出超過額	4,609	3,101	
前年度繰越消費支出超過額	23,891	18,467	
翌年度繰越消費支出超過額	28,501	21,569	

時価が大幅に下落したことによる保有有価証券の評価替えなどにより増加しました。

【有価証券処分差額および有価証券評価差額】
(単位：百万円)

主に売却に伴う損失額 (有価証券処分差額)	134
時価が取得価格より概ね 50%以上下落した有価証券 で評価替えを行ったもの(実 損失は発生していません) (有価証券評価差額)	1,621
合計	1,755

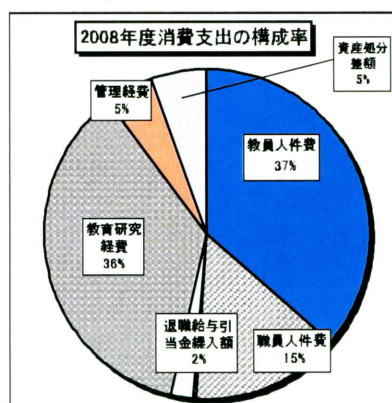
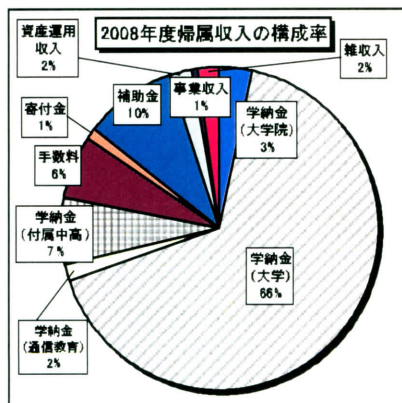
12ページ「本学の資金運用について」
をご参照ください。

(注1)

帰属収支差額＝帰属収入－消費支出

(注2)

帰属収支差額比率＝帰属収支差額÷帰属収入×100



(3) 貸借対照表

貸借対照表について、その主な内容をご報告いたします。

貸借対照表

(資産の部)

(単位：百万円)

科 目		本年度末	前年度末	増 減
資 産	固定資産	168,280	160,352	7,929
	有形固定資産	128,053	123,071	4,982
	その他の固定資産	40,227	37,281	2,946
	流動資産	25,463	28,087	△ 2,624
	合 計	193,743	188,439	5,304

(負債の部、基本金の部、消費収支差額の部)

科 目		本年度末	前年度末	増 減
負 債	固定負債	16,242	14,537	1,704
	流動負債	11,820	12,510	△ 690
	計	28,062	27,047	1,015
	基本金	187,250	179,859	7,391
	消費収支差額	△ 21,569	△ 18,467	△ 3,101
	合 計	193,743	188,439	5,304

(参考)

正 味 資 産	165,681	161,392	4,290
---------	---------	---------	-------

※ 正味資産＝資産－負債（＝基本金＋消費収支差額）

減価償却額の累計額	60,997	58,418	2,579
基本金未組入額	11,999	11,047	952

【貸借対照表注記事項】（抜粋）

(1) 有価証券の時価情報

(単位：百万円)

貸借対照表計上額	時価	差額
44,373	43,324	△ 1,049

(2) 学校法人の出資割合が総出資額の2分の1以上である会社

a. 株式会社エイチ・ユー

<事業内容>

・書籍・文具・事務機器等の販売 ・建物内外の清掃・保守管理・警備 ・印刷業 ・一般及び特定労働者派遣事業 ・有料職業紹介業 ・一般土木建築工事業 など

(3) 本学の学内年金決算における年金財政貸借対照表

年金財政貸借対照表

2008年7月31日

(単位：百万円)

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
年金信託受益権	15,963	支払備金	0
未収掛金	0	責任準備金	26,963
過去勤務債務等の現在額	11,001		
合 計	26,963	合 計	26,963